

株式会社河南測量設計

2015年度 環境活動レポート

(対象期間：2015年9月～2016年8月)



発行日：2016/10/28

改訂日：2017/4/17

ごあいさつ

株式会社河南測量設計は測量設計業を中心に活動する企業です。昭和53年の設立以来、多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で37年を迎えました。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一步を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境方針

【基本理念】

我々株式会社河南測量設計は社会資本整備を担う企業として、地球環境保護のため、我々の実施する測量及び土木設計など全ての事業活動において環境の保全に配慮した行動を実行し地球環境の保全と向上に努めます。

【行動指針】

具体的に次の事に取り組みます。

- ① 環境保全に関連する法令その他規則を常に確認し、遵守します。またこの環境方針は全ての従業員に周知します。
- ② 事業活動におけるCO2排出量を減らすため、エネルギー(電気・ガソリン・灯油・LPガス)消費量の削減に努力します。又、総排水量の削減に努力します。
- ③ 事業所から出る廃棄物の削減に努力します。
- ④ 教育を通じて全社員に環境保全に対する意識を向上させ社内全員での環境保護に努めます。
- ⑤ グリーン購入の推進に努めます。
- ⑥ 環境保護に配慮した設計の提案に努めます。

制定 平成23年9月5日

改定 平成27年9月1日

株式会社 河南測量設計
代表取締役 河南 功

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社河南測量設計
代表取締役 河南 功

(2) 所在地

本 社 〒669-2212 兵庫県篠山市大沢一丁目13番地4
宝塚支店 〒665-0061 兵庫県宝塚市仁川北2-1 2-2 3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 測量課空間情報室長 植野大輔 TEL:079-594-2407
担当者 測量課空間情報室長 植野大輔 TEL:079-594-2407

(4) 事業内容

測量及び土木設計業 (道路、河川、橋梁、下水道、土木構造物)

(5) 事業の規模

事業実績高 137,855 (千円) (27年度実績)

	本社	宝塚支店
従業員	8名	2名
延べ床面積	750㎡	25㎡

(6) 事業年度 9月～翌年8月

□認証・登録の対象範囲

登録組織名: 株式会社河南測量設計

対象事業所: 本社、宝塚支店

対象外: なし

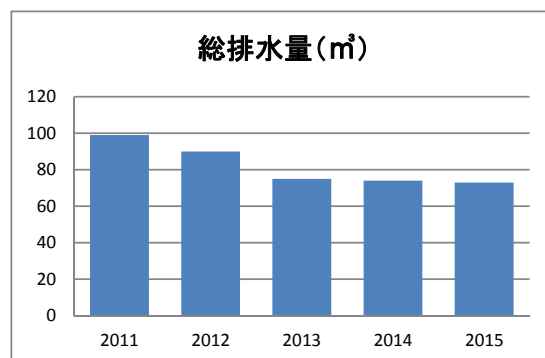
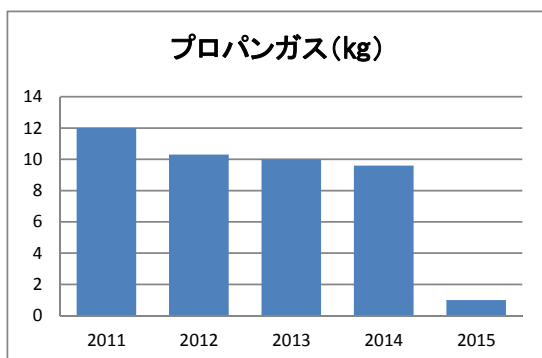
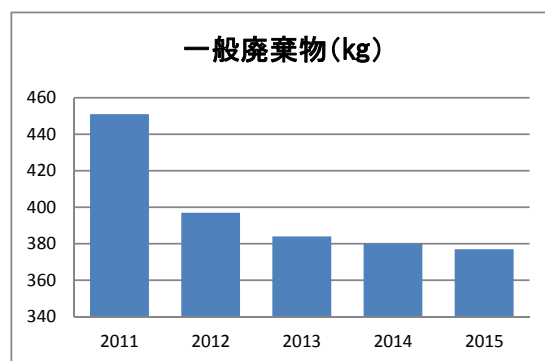
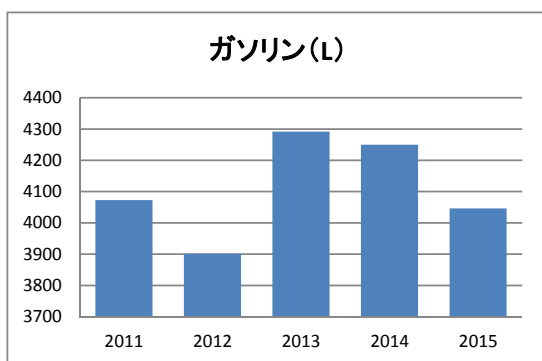
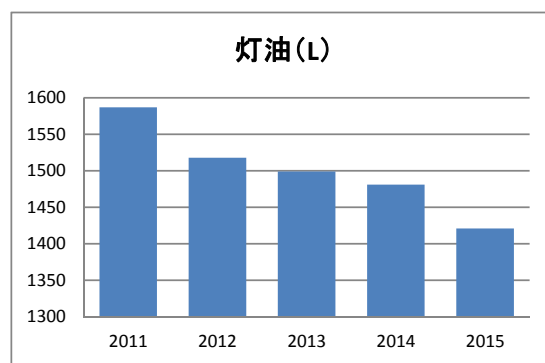
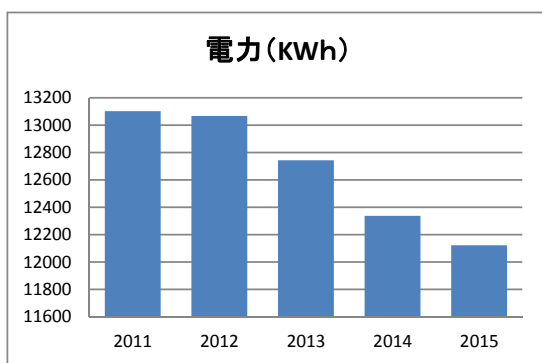
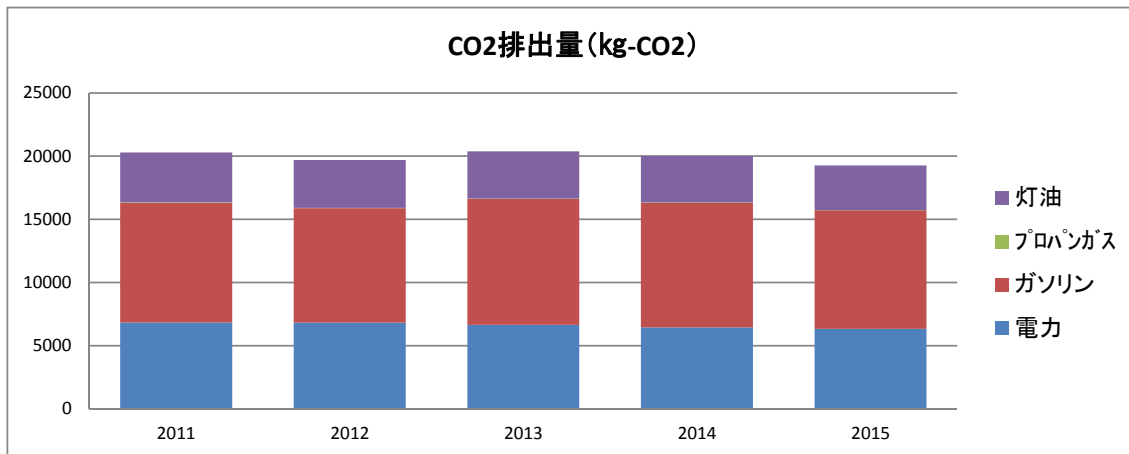
活動: 測量業務・土木設計業 (道路、河川、橋梁、下水道、土木構造物)

□アクセス



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	20,285	19,691	20,381	20,027	19,265
電力	kWh	13,102	13,068	12,743	12,338	12,122
ガソリン	L	4,073	3,901	4,292	4,250	4,046
LPG	kg	12.0	10.3	10.0	9.6	1.0
灯油	L	1,587	1,518	1,499	1,481	1,421
一般廃棄物排出量	kg	451	382	370	380	377
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0	0	0
総排水量	m ³	99	90	75	74	73



□環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

項目	年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		基準年度			
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	20,027	19,827	19,626	19,426
	対基準		△1%	△2%	△3%
電力使用量削減	kWh	12,338	12,215	12,091	11,968
	kg-CO ₂	6,440	6,376	6,312	6,247
ガソリン 使用量削減	L	4,250	4,208	4,165	4,123
	kg-CO ₂	19,172	9,768	9,670	9,571
LPG 使用量削減	k g	9.6	9.5	9.4	9.3
	kg-CO ₂	40	29	28	28
灯油 使用量削減	L	1,481	1,466	1,451	1,437
	kg-CO ₂	4,199	3,654	3,617	3,580
II. 廃棄物排出量 (一般廃棄物)	kg	380	376	372	369
	対基準		△1%	△2%	△3%
III. 水使用量削減	m ³	74	73	72	71
	対基準		△1%	△3%	△4%
IV. グリーン購入	%	88%	70%以上	70%以上	70%以上
	対基準				
V. 環境配慮設計 の提案	件	5	5	5	5
	対基準				

注1) 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、関西電力公表の2013年度実績
0.522kg-CO₂/kWhを使用。

注2) グリーン購入の目標値(%)は、グリーン購入(件)を全体購入(件)で割ったもの

(2) 対象期間(2015年度)の実績

項目	年度	2015年度における実績				
		2014年度	(2015年9月～2016年8月)			
			基準値	目標	実績	達成度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	20,027	19,827	19,265	103%	○
	対基準		△1%	△4%		
電力使用量削減	kWh	12,338	12,215	12,122	101%	○
	kg-CO ₂	6,440	6,376	6,328		
ガソリン 使用量削減	L	4,250	4,208	4,046	104%	○
	kg-CO ₂	19,172	9,768	9,393		
LPG 使用量削減	kg	9.6	9.5	1.0	950%	○
	kg-CO ₂	40.0	29	3		
灯油 使用量削減	L	1,481	1,466	1,421	103%	○
	kg-CO ₂	4,199	3,654	3,541		
II. 廃棄物排出量 (一般廃棄物)	kg	380	376	377	99.8%	△
	対基準		△1%	△1%		
III. 水使用量削減	m ³	74	73	73	100%	○
	対基準		△1%	△1%		
IV. グリーン購入	%	88%	70%以上	86(77/90)	123%	○
	対基準			△2%		
V. 環境配慮設計 の提案	件	5	5	6	120%	○
	対基準			+17%		

注1) 評価欄にて、○：達成、△：やや未達成、×：未達成

注2) グリーン購入(%)は、グリーン購入件数を全体購入件数で割ったもの

□環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力使用量の削減		
空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃）	◎	着衣等での温度調整などにより達成できた。
照明未使用時の消灯	◎	現場へ出る際も忘れずに消灯し達成できた。
OA機器の省電力設定	◎	省電力もしくは電源OFFにより達成できた。
OA機器は休日に主電源を切る	◎	週末帰宅時に確認主電源OFF確認をすることにより達成できた。 今後とも一層積極的な取組みを実施する。
ガソリン使用量の削減		
アイドリングストップ	◎	昼休憩時など不要なアイドリングストップにより達成できた。
適正な車両の整備	◎	普段よりオイル交換などの確認をする事により達成できた。
タイヤの空気圧を規定値に保つ	◎	タイヤの空気圧の減少を防ぐ事により燃費の向上に努めた。
積載荷物の軽減	◎	不必要な機器を積み込まず最低限の積載量で移動する事により燃費の向上に努めた。 今後とも一層積極的な取組みを実施する。
LPガス使用量の削減		
出来るだけ煮沸しない。	◎	LPGは平成27年11月に休止した為、大幅な削減となった。
灯油使用量の削減		
ストーブの省電力運転	◎	ストーブの低温度設定及び早朝などの寒い時間のみの使用などにより達成できた。
着衣での保温	◎	多少寒い場合でも室内での重ね着などにより灯油の使用量削減に努めた。 今後とも一層積極的な取組みを実施する。
一般廃棄物の削減		
裏紙として再使用	◎	社内印刷物は裏紙を使用しゴミの削減に努めた。
印刷部数を確認して印刷	◎	印刷前に必要部数の確認を行い余分な紙を使用しないように努めた。
印刷物は出来るだけ1枚に収める	◎	縮尺を伴わない印刷物は読める程度に縮小に一枚に収め使用枚数の削減に努めた。
排出ゴミは出来るだけ圧縮する	◎	指定ゴミ袋に入れる際、出来る限りゴミをコンパクトにし、ゴミ袋の使用枚数を減らすよう努めた。
使い捨て用品の抑制	◎	使い捨てのコップなどは使用しないように努めた。 今後とも一層積極的な取組みを実施する。
水道水使用量の削減		
少量で洗い物を行う	○	コップや雑巾などを洗う際、水の出っぱなしをせず節水に努めた。
手洗い時など節水に心掛ける	○	節水を啓発するポスターを張り出し、節水の周知を行った。 今後とも一層積極的な取組みを実施する。
グリーン購入の推進		
・事務用品の購入対象品目調査	◎	月々の購入物のリストアップを継続する。 今後とも一層積極的な取組みを実施する。
環境配慮設計の提案		
設計業務受託時に産業廃棄物の削減や自然環境に考慮した工法の提案を行う。	○	災害復旧申請図書作成業務にて環境保全型 ポーラスコンクリートブロックを提案した。 今後とも一層積極的な取組みを実施する。

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	要求事項(事業者の義務・責務)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理	遵守
測量法	測量業者登録, 公共測量作業規程及び準則に準じて測量を実施	遵守
消防法	火災報知機の設置及び維持管理、消火器	遵守
家電リサイクル法	廃家電の適正処理 (小売業者への引渡し義務)	実績なし
自動車リサイクル法	廃棄自動車の適正処理	遵守
資源有効利用促進法	廃パソコンの適正処理	実績なし
グリーン購入法	グリーン物品の購入努力義務	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
 なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去4年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

当社は良い地球環境や自然環境を次世代に残すため、エコアクション21に取り組んで来ました。エコアクション21活動を実施した結果、電力、灯油、LPガス、ガソリン、排水量の目標を達成し、CO2排出量を削減することができました。電力に関して、上半期は業務多忙により消費電力の増加傾向になりましたが、下半期の節電により何とか目標を達成することが出来ました。ガソリン使用量に関しては、エコ運転はもちろん、電気自動車の起用により削減することが出来ました。今後もCO2排出量の削減に努めエコアクション21という環境活動を通じて社会に貢献していきたいと思えます。

全体としては社員全員の環境に対する意識が高まり、このような結果に結びついたと考えられます。2016年度も環境負荷削減活動に力を入れていきます。

平成28年9月12日 代表取締役 河南功

□環境活動の紹介

<省エネ>



<ごみの分別>



<清掃活動>



<節水>



<消火訓練>

